



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日 東

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所
 コード番号 3176 URL <http://www.sanyo-trading.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 高須 淳 (TEL) 03-3518-1111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	45,051	△3.5	3,040	△2.1	3,166	△7.0	1,978	△16.9
27年9月期第3四半期	46,684	8.0	3,104	24.9	3,404	25.8	2,380	51.6

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 1,336百万円(△55.6%) 27年9月期第3四半期 3,006百万円(83.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	138.29	137.73
27年9月期第3四半期	166.40	165.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	30,523	20,030	63.7
27年9月期	30,285	19,394	62.1

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 19,441百万円 27年9月期 18,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	24.00	—	25.00	49.00
28年9月期	—	23.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	5.5	4,050	12.3	4,250	3.4	2,600	△7.0	181.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年9月期3Q	14,503,854株	27年9月期	14,503,854株
28年9月期3Q	196,646株	27年9月期	200,246株
28年9月期3Q	14,304,461株	27年9月期3Q	14,303,608株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加などにより、緩やかな回復基調が続きました。一方で、年初からの円高や消費者マインド・企業の業況判断が慎重さを増すなか、足元の景気は停滞感の強い状況となっております。また、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱等、先行きについては依然不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は45,051百万円（前年同四半期比3.5%減）となり、営業利益は3,040百万円（前年同四半期比2.1%減）、経常利益は3,166百万円（前年同四半期比7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,978百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ゴム・化学品」としていたセグメントの名称を「化成品」へ変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①化成品

ゴム関連商品は、主力の自動車向けや家電・情報機器関連向けの合成ゴムおよび副資材の販売が低調でした。化学品関連商品は、工業用フィルム・医薬品の輸出や電材の販売が低調でしたが、染料や難燃剤の販売が好調でした。また、第2四半期に新たに連結子会社となった㈱ソートの業績が寄与いたしました。

この結果、売上高は18,046百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益（営業利益）は912百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品は、自動車内装用部品の販売が引き続き好調に推移し、シート用高機能性部品・原材料販売も伸長しました。機械・環境関連商品は、木質バイオマス関連は低調でしたが、飼料用ペレットミルは好調でした。科学機器関連商品は、各種分析・試験機器の販売が好調でした。

この結果、売上高は14,527百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,704百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、ゴム関連は好調でしたが、吸水性ポリマーが低調でした。三洋物産貿易（上海）有限公司は、自動車用各種部品は伸長しましたが、ゴムおよび化学品関連は低調でした。San-Thap International Co., Ltd.（タイ）は、タイヤパーツ安による輸入品の採算悪化などにより低調でした。

この結果、売上高は8,220百万円（前年同四半期比15.2%減）、セグメント利益（営業利益）は269百万円（前年同四半期比32.1%減）となりました。

④国内子会社

コスモス商事㈱は、海洋・船舶や地熱関連が伸び悩みました。㈱ケムインターは、化学品、機械機器・電子部品ともに低調でした。

この結果、売上高は4,047百万円（前年同四半期比28.1%減）、セグメント利益（営業利益）は468百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛債権が増加した一方で、現金及び預金やたな卸資産が減少したこと等により、前連結会計年度末比196百万円減少し、24,636百万円となりました。

固定資産は、主に国内連結子会社株式取得に伴うのれんの増加により、前連結会計年度末比435百万円増加し、5,886百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は30,523百万円（前連結会計年度末比238百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、仕入債務や短期借入金等が減少したことにより、前連結会計年度末比268百万円減少し、9,381百万円となりました。

固定負債は、主に投資有価証券の評価差額計上に伴う繰延税金負債の減少により、前連結会計年度末比129百万円減少し、1,111百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は10,492百万円（前連結会計年度末比397百万円の減少）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によって株主資本が増加した一方で、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少によりその他の包括利益累計額が減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産は20,030百万円（前連結会計年度末比636百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月6日付「平成27年9月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間において、株式の取得に伴い、株式会社ソートを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34,065千円減少しております。

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却の方法に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,204,896	2,740,385
受取手形及び売掛金	12,567,404	12,614,515
電子記録債権	502,130	749,348
商品及び製品	7,407,708	7,293,318
仕掛品	1,824	4,873
原材料及び貯蔵品	2,188	1,017
その他	1,172,000	1,245,375
貸倒引当金	△24,927	△11,974
流動資産合計	24,833,226	24,636,860
固定資産		
有形固定資産	1,984,251	1,964,991
無形固定資産		
のれん	7,638	682,875
その他	51,107	86,169
無形固定資産合計	58,745	769,044
投資その他の資産		
投資有価証券	2,710,749	2,339,136
その他	703,319	820,489
貸倒引当金	△5,130	△6,698
投資その他の資産合計	3,408,938	3,152,927
固定資産合計	5,451,936	5,886,963
資産合計	30,285,162	30,523,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,051,820	6,393,022
短期借入金	984,664	779,679
1年内返済予定の長期借入金	50,000	69,920
未払法人税等	754,420	664,061
引当金	10,646	273,205
その他	797,810	1,201,332
流動負債合計	9,649,361	9,381,220
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付に係る負債	681,537	682,565
その他	509,849	379,056
固定負債合計	1,241,386	1,111,622
負債合計	10,890,748	10,492,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	428,398	426,948
利益剰余金	16,627,189	17,918,739
自己株式	△192,195	△188,739
株主資本合計	17,869,980	19,163,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693,428	362,336
為替換算調整勘定	233,072	△84,790
その他の包括利益累計額合計	926,500	277,546
新株予約権	35,823	47,891
非支配株主持分	562,110	542,008
純資産合計	19,394,414	20,030,981
負債純資産合計	30,285,162	30,523,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	46,684,981	45,051,722
売上原価	39,334,873	37,660,109
売上総利益	7,350,108	7,391,613
販売費及び一般管理費	4,245,792	4,351,153
営業利益	3,104,315	3,040,459
営業外収益		
受取利息	6,368	5,085
受取配当金	51,638	54,307
為替差益	236,294	51,220
その他	65,035	59,356
営業外収益合計	359,336	169,969
営業外費用		
支払利息	32,992	12,251
その他	25,921	31,409
営業外費用合計	58,913	43,661
経常利益	3,404,738	3,166,767
特別利益		
国庫補助金	33,725	12,000
特別利益合計	33,725	12,000
特別損失		
減損損失	25,352	—
関係会社株式売却損	12,803	—
固定資産圧縮損	19,771	1,954
和解金	—	32,361
特別損失合計	57,928	34,315
税金等調整前四半期純利益	3,380,535	3,144,452
法人税等	924,156	1,121,844
四半期純利益	2,456,378	2,022,607
非支配株主に帰属する四半期純利益	76,252	44,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,380,126	1,978,160

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	2,456,378	2,022,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	351,900	△331,494
為替換算調整勘定	198,159	△355,025
その他の包括利益合計	550,060	△686,520
四半期包括利益	3,006,439	1,336,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,907,397	1,329,206
非支配株主に係る四半期包括利益	99,041	6,881

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	17,789,445	13,404,057	9,692,176	5,628,925	46,514,604	171,995	46,686,600	△1,618	46,684,981
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,007,965	144,219	1,052,247	43,680	3,248,112	24,963	3,273,075	△3,273,075	—
計	19,797,411	13,548,276	10,744,423	5,672,605	49,762,717	196,958	49,959,676	△3,274,694	46,684,981
セグメント 利益	889,814	1,609,861	397,336	588,027	3,485,039	116,173	3,601,212	△496,896	3,104,315

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額△1,618千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△496,896千円には、のれん償却額△1,353千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△373,010千円、管理会計との為替調整額△135,818千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,046,835	14,527,236	8,220,670	4,047,215	44,841,957	167,737	45,009,695	42,026	45,051,722
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,795,209	158,935	843,099	26,812	2,824,056	24,963	2,849,019	△2,849,019	—
計	19,842,045	14,686,171	9,063,770	4,074,027	47,666,014	192,700	47,858,715	△2,806,993	45,051,722
セグメント 利益	912,440	1,704,586	269,974	468,459	3,355,460	91,000	3,446,461	△406,001	3,040,459

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額42,026千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△406,001千円には、のれん償却額△36,847千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△370,309千円、管理会計との為替調整額38,710千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「ゴム・化学品」としていたセグメントの名称を「化成品」へ変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社ソートの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「化成品」セグメントにおいて、のれん715,046千円を計上しております。